

男女共同参画と女性活躍のまちづくりをすすめています！

あま市男女共同参画プラン

「いろいろな私でいいあなたでいいみんなが笑顔で生きるまち」を目標像に「第2次あま市男女共同参画プラン」を策定しました。この計画に基づき、あま市では様々な取組を実行しています。女性も男性も性別に関わりなく、個性と能力を発揮できる多様性に富んだまちを実現しましょう！



↑ 男女共同参画週間

啓発イベント

● 家事等実践講座

「男性とお父さんのスパイスカレー講座」など、性別役割分担意識を解消して生活で役立てられる講座を開いています。

● 女性に対する暴力をなくす運動

運動の一環として、パネル展示とパープル・ライトアップを実施しています。



↑ 家事等実践講座



↑ パープル・ライトアップ

女性のつながりサポート事業

コロナ禍以降、孤独になりがちな女性や悩みを抱える女の子を地域で支える取組です。つながり LINE（個別相談窓口、オープンチャット）があります。カフェでくつろぐような気分でお話してみませんか？



高校生と大人たち、あま市で暮らす市民記者が取材しました！

今年で8回目となる女性活躍情報誌の取材をして記事を書いたのは8人の市民記者のみなさん。五条高校、美和高校に通う高校生とあま市在住在勤の大人たちが参画してくださいました。市民のみなさんが素敵だと感じた等身大の声でつくられた情報誌です。

各チームの取材の様子



この情報誌へのご意見・ご感想をぜひお寄せください（上の二次元コードから）



@MyLife vol.8

和やかな環境づくりを志して

和樂は、小児がんの子どもとその家族を支援する、「ピアサポート」の活動を行っています。2020年から活動を始めました。活動を始めたきっかけは、「お母さんたちの心のよりどころになるように」という思いからです。私たち自身、自分の子どもが小児がんにかかり、大変な日々を送ってきたという経験をしてきました。自身の経験も活かして社会福祉を行いたいと思っています。

生活に光を灯すために

レモネードスタンドや病棟支援など、沢山の取り組みに挑戦してきました。レモネードスタンドは、主にレモネードの販売で集まったお金を小児がんの治療やサポートに役立てる活動です。和樂では、集まったお金をピアサポートや啓発に活用しています。ピアサポートでは、入院中のお子さんに、工作キットのプレゼント（季節のイベントに合わせたもの、点滴に吊るせるものなど）を贈ってきました。その他、付き添いのご家族へ旬の食材を使ったお弁当を届け、マッサージの提供もしています。病院での生活を明るく楽しくしたいです。

苦しいを楽しいへ

小児がんは年齢関係なく、辛さや苦しさをもたらします。親や兄弟、友達にも無意識にストレスを抱えさせてしまうことも…。そんな子どもや親に一瞬一秒でも笑顔になれる居場所を作るのが和樂の目指すことです。活動を知っていただき、興味を持ってもらえたら、ぜひ一緒に活動をしてみませんか。いつでもお待ちしております。

【プロフィール】

伊藤麻衣さん（写真右）「小児がんファミリーピアサポーター 和樂 ~waraku~」代表。医療関係者との交流にも力を入れ、小児がん患者と家族のサポートを充実させたいと考えている。

下野和香さん（写真左）同団体副代表。マッサージや触れ合いなど小さなことでもコツコツ行い、保護者のサポートが出来るように日々励んでいる。

撮影場所 / 七宝保健センター

市民記者 / 美和高校 川島千知、北村陽菜、塔崎彩女

伊藤さん、下野さんの元気のワンポイント

思わず楽しくなる 100万点の笑顔！

全ての親子が笑顔になる世界へ

いとう まい
伊藤 麻衣さん

しもの わか
下野 和香さん

市民記者のヒトコト

全ての女性に
希望を与える
素敵なお話でした！



支援を超えたコミュニケーション

はやし かほ

林 香穂さん

学習支援が居場所になるために

ひとり親家庭の中学生向けの学習支援ボランティアを大学 1 年生から 4 年間続けてきました。これは、勉強を教えるだけでなく、中学生の居場所づくりにもつながる活動です。「行かなきゃ」ではなく「行きたい」と思ってもらえたらと、「相手の目線に立つ」ことを心がけてきました。「先生がいるなら来る」と言ってもらえたこともあり、ここへ来る理由になれたようで嬉しかったです。

挑戦の後押し

大学時代を通して、長期休みに実施される「こどもキャンプ」にも参加しています。毎年のように会える子もいれば、新しい出会いもたくさんありました。子どもたちに、「なにがしたい？」と尋ねると、大抵「なにをしたらいいの？」と返ってきます。そんな時、「なんでもやっていいよ」と声をかけるんです。縮こまらずチャレンジしてみしてほしい。初めて親元を離れた。初めて火をおこした。小さな背中がたった数日で見違えるほど大きくたくましくなるのを見せてもらいました。

先生として目指すもの

学習支援やキャンプでの経験を通して、小学校の先生を目指したいと思いました。失敗を恐れて、自分で決めるのが難しい子どもがいる。まだ人格を形成している真っ最中の小学生の先生になって、決断力や行動力のある子を育てたいです。

【プロフィール】

五条高校出身。大学 4 年生。中学生の頃からあま市の新庁舎の建設計画をはじめとする数々の市の事業に参加。「@My Life」の記者も経験した。小学校の先生を目指し、日々学習支援ボランティアとして活動しながら、勉強している。

撮影場所／あま市役所

市民記者／五条高校 牛田咲穂、内山采音、川村真央

市民記者のヒトコト

親切でとても
話しやすい先輩でした。
五条高校の話で
盛り上がりました！



林さんの元気のワンポイント

子どもの成長！！

ただ人を幸せにしたいくて

おおみや しょうこ

大宮 祥子さん

原動力は笑顔

きっかけは、2005 年の愛・地球博で演奏したことでした。「みんなを元気にしたい！」とギターを抱え、オーボエ奏者の友人とボランティアの音楽活動を始めたんです。病院や施設を周り、楽しみに待っていてくださるみなさんを笑顔に。地域で音楽の場を設けたいと音楽ネットこすもを立ち上げました。「健康・仲間・平和」をモットーに、夢コンサートというイベントを開催し続けています。毎回大盛況で、お客様も演奏者もみんなが笑顔です。いつの間にか 26 回を数えていました（笑）

チャンスを逃さないで

夢コンサートでは「リコーダーやハーモニカが懐かしかった」「オカリナや篠笛を初めて知った」「馴染みの曲、懐かしい曲が生演奏で聴けて良かった」「楽器を習ってみたいくなった」といった言葉をいただいています。いろいろなことに興味を持つきっかけになってほしいと活動してきた成果です。

常にアンテナをはり、その時々意見やアイデアを大事にまずはやってみる！この考え方が私を幸せに導いてくれました。音楽でみなさんを元気にしたいと願いつつ、私が一番楽しんでいるかもしれません。

音楽で幸せの種まきを

生演奏で楽器や歌を聴く機会を増やし、もっと音楽を身近に感じながら、あま市のみなさんに心豊かで元気な生活を送ってほしい。各々の音楽性を磨いた演奏者に夢コンサートに参加してもらいたい。そうして、これからもがんばる人たちをつなげていきます。人生は一度きりです。いくつになっても新しい挑戦はできます。私は種まきをしているだけ。みんなの幸せが私の願いです。

【プロフィール】

「音楽ネットこすも」代表。2025 年で結成 20 周年を迎える。ギター奏者。音楽以外の分野でも人を幸せに出来ればと、資格の取得などに邁進中。

撮影場所／甚目寺公民館

市民記者／伊藤栄美子、山岸樹里

市民記者のヒトコト

生演奏を聴いて
泣きそうになりました。



大宮さんの元気のワンポイント

みんなの笑顔！